

NPO法人SMAPPY



2024年度
鹿児島県和泊町における「子ども第三の居場所」
SMAPPY KIDS (2年目) 活動報告

目次

- 01 遊び場・おむすび屋に関する報告
- 02 SMAPPY KIDSに関する報告

02 SMAPPY KIDS

02 SMAPPY KIDS

対象

小学1～3年がメイン（それ以上も可）

内容

登録制で子どもたちが安心して放課後を過ごせる場、さらに生きる力を育める場を目指している。



01 おむすび屋・遊び場
対象
子どもから大人まで誰でも
内容
子連れでも気軽にランチを楽しめるよう
におむすび・カフェ・ランチ・離乳食の
提供をしている。小学生以上は一回100
円でおむすびを食べて遊べる室内版公園
として使える。第4週を除く土曜日に地
域こども食堂として遊び場利用料のみで
定食も食べられる。

詳細開所：月～金/第2土曜 放課後～18:30(延長応相談)

長期休み 8:00～18：30(延長応相談)

利用料：18時まで1時間100円・18時以降1時間100円

*捕食としておむすびが基本で寄付で頂いているお菓子など

- ・学校までの送迎あり
- ・長期休みにおいては野外活動で川、プールなどへお出かけ
- ・衣食住に関わる調理・洗濯・などへの参加。
- ・学習プログラムを通しての原体験。

開催したイベント詳細

5月：壁画をかこうイベント、母の日のフラワーアレンジメント／6月：オンライン多拠点交流
夏休みに何したいか会議／7月：お祭り縁日、モリウミアス現地研修の練習お泊り会／8月：キッズデザイナーワークショップへの参加、ピッツア作り体験／9月：みんなで段ボールハウス作り／10月：ハロウィンパーティー、防災食体験／11月：ハーブチンキ作り、農業祭出店で子ども店員／12月：しめ縄ワークショップ、えらぶのじゃがいも粘土でオーナメント作り／12月：島ムニかるた&餅つき大会／2月：モリウミアス現地研修／3月：みちくさアート

03 SMAPPY KIDS

●2024/0401~0331
利用数

年間開所日数
249日

利用合計人数
1926人

1日の平均利用数
7.7人

	利用者数（人）	開所日数（日）
4月	121	22
5月	142	21
6月	137	21
7月	187	22
8月	181	17
9月	134	18

	利用者数（人）	開所日数（日）	2023年度 合計利用者数 (人)
10月	156	23	
11月	161	22	
12月	194	22	1
1月	180	20	9
2月	163	21	7
9月	170	20	2

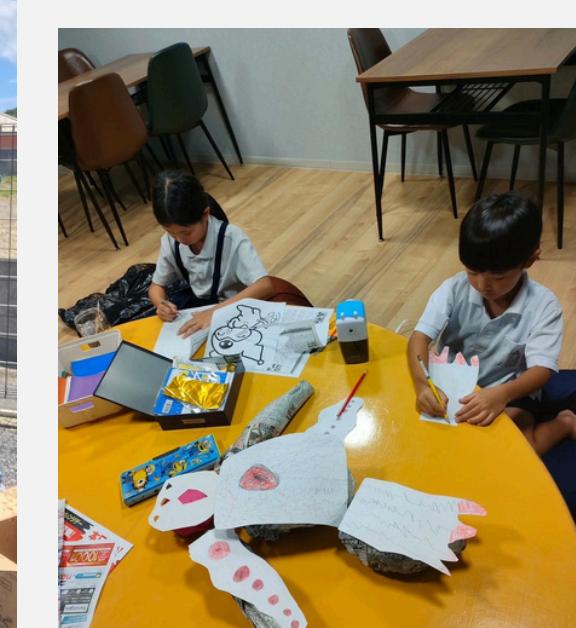
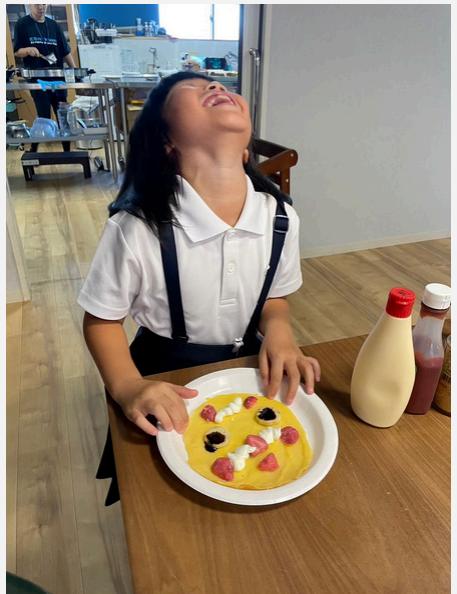
03 SMAPPY KIDS

●利用の様子



03 SMAPPY KIDS

●利用の様子



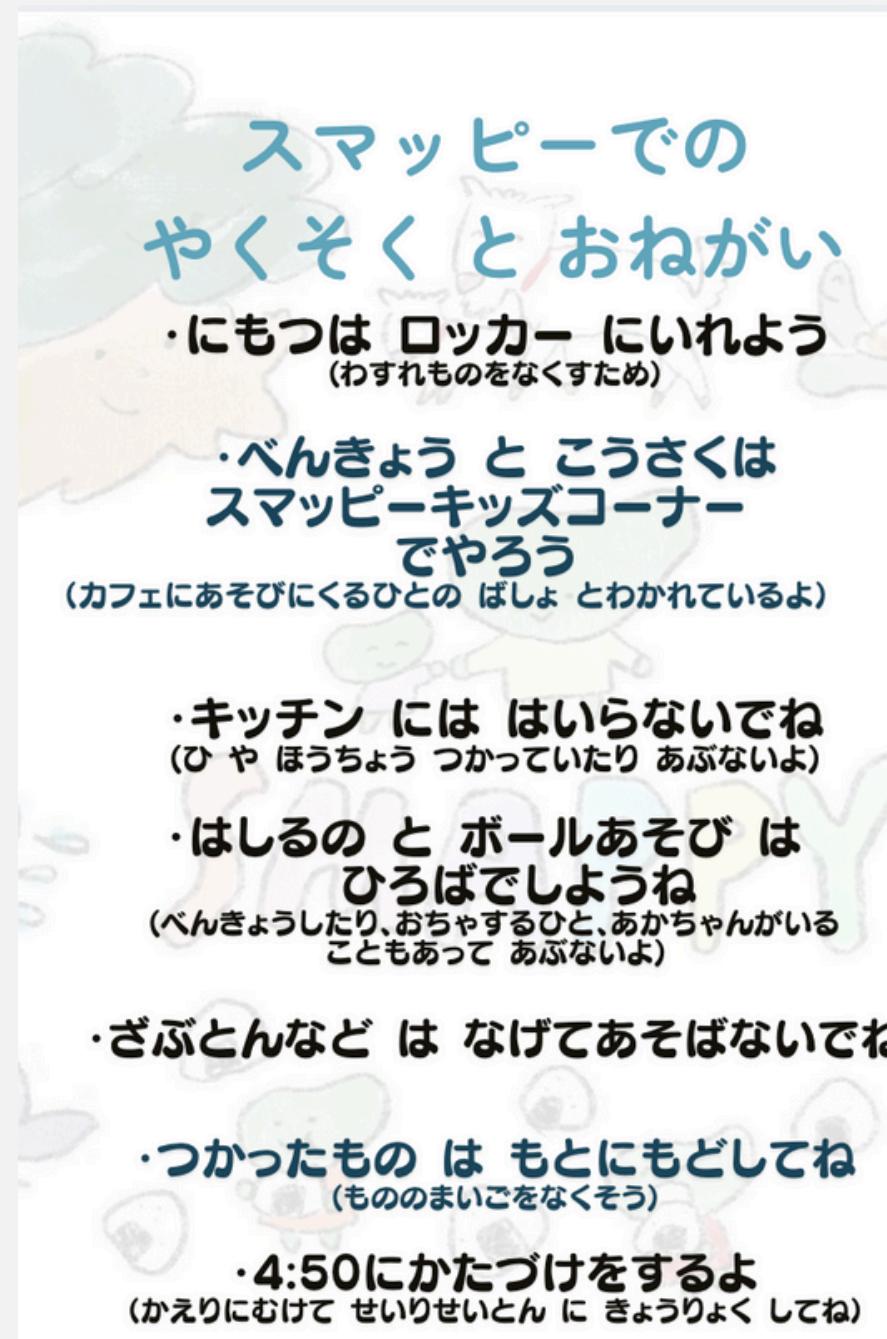
03 SMAPPY KIDS

●イベントの様子



03 SMAPPY KIDS

●過ごし方



- ・平日は基本的に自分でスケジュールを立てて宿題やおやつ、あそびなど自己決定する力に繋げている
- ・夏休みは左のように基本の動きを決めてその中で選択して過ごせるようにしていた

03 SMAPPY KIDS

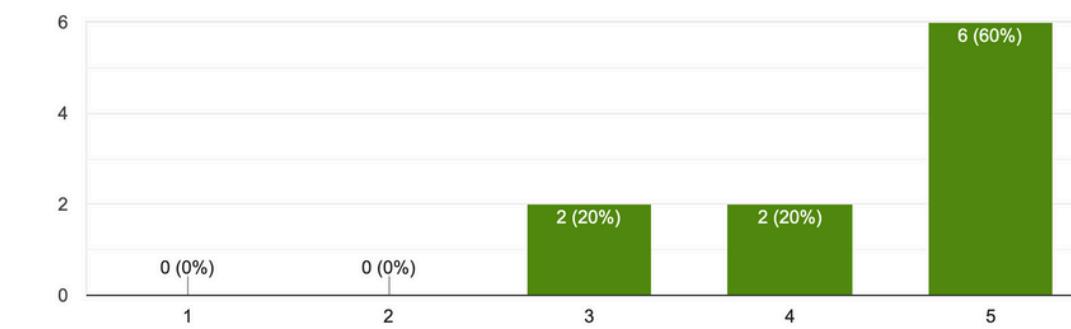
●保護者からの声 「年間を通してSMAPPYで過ごしたことでの、子どもの変化があればおしえてください。」

- ・親が仕事でも安心して待ってる場所がある。
- ・お兄さんの学年として下の子をお世話するようになったかなと思います。
- ・時間の使い方・優先順位を考えるようになった。チャレンジする力がついた。
- ・お泊まりとお留守番ができるようになった。いろんな遊び（トランプ、オセロ、将棋）のルールを覚えて、テレビ以外の楽しみができた。
- ・友達が増えてコミュニケーションをとるのが上手くなってきた
- ・料理のことに興味を持って何を作りたいって、YouTubeでみせながら言うようになった
- ・スマッピーに居るから、学校の仲間だけではなく、そこに来るお母さんや赤ちゃん、大人の人とも関わりが持て、コミュニケーション能力が更に上がったように思います。
- ・モリウミアスの後は食材や調理に興味を持ち、家でも活動について話したりお手伝いをしたがったりします。

回答13名

●子どもたちの声

スマッピーでの1年は、たのしかったかな？
10件の回答



03 SMAPPY KIDS

●Good

- ・普段できない体験、経験に対しての満足度が高かった
- ・データからも利用者の声からも、夏休み中の需要が高くニーズに応えられた
- ・子どもたち自身が楽しめていたのが何よりよかったです
- ・この地域において必要な活動が見えてきたり、子どもと過ごす中でリアルな声が聞けてよかったです

●More

- ・子どもたちの声の中には居場所になりきれていないように感じ取れるコメントもあったので、どんな方向に進めるのが良いか検討改善を重ねている
- ・台風でできなかった活動もあり、臨機応変に他の遊びに変えられたがもう少し体験できるようしたかった思いも残った
- ・学童との差別化を図るのか、まったく別の路線を探るのかまだ摸索